

## 適用拡大登録

区 分	殺菌剤
農 薬 名	パレード 20 フロアブル
種 類 名	ピラジフルミド水和剤
登 録 番 号	第 24071 号
登 録 会 社	日本農薬株式会社
登 録 日	令和 6 年 2 月 14 日

## 登録内容

農薬登録申請書第 7 項を以下のとおり変更する（変更後は別紙）。

- 1)適用病害虫名の追加：トマト・ミニトマト/斑点病（2000～4000 倍）  
にら/白絹病（2000 倍）  
ねぎ/小菌核病（2000～4000 倍）  
はなやさい類：黒すす病（100 倍/灌注）  
きく/褐斑病（2000 倍）
- 2)作物名の追加：ゆり/葉枯病（2000 倍）
- 3)作物名の変更：花き類・観葉植物（ばら、きく、りんどう、トルコギキョウを除く）⇒  
花き類・観葉植物（ばら、きく、りんどう、ゆり、トルコギキョウを除く）
- 4)使用方法の追加：たまねぎ：20倍（1.6L/10a）、25倍（2.0L/10a）、40倍（3.2L/10a）、無人航空機  
による散布

## 使用上の注意事項

農薬登録申請書第 9 項(1)を以下のとおり変更し、変更後のとおりとする。

- (1) 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。

### 【変更後】

- (1) 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (2) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (3) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。

別紙

【変更後】(変更する作物のみ抜粋)

7. 適用病害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数
トマト、ミニトマト	灰色かび病 葉かび病 うどんこ病 菌核病 <b>斑点病</b>	2000～4000 倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内
	すすかび病	2000 倍					
にら	白斑葉枯病	2000～4000 倍	100～300L/10a				
	<b>白絹病</b>	2000 倍					
ねぎ	黒腐菌核病	100 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱または、ペーパーポット 1 冊 (約 30×60cm、使用土壌約 1.5～4L) 当り 0.5L	育苗期後半～定植当日	1 回	灌注	3 回以内 (灌注は 1 回以内)
	黒斑病 葉枯病 小菌核腐敗病 <b>小菌核病</b>	2000～4000 倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	
	さび病 黒腐菌核病 白絹病	2000 倍					
はなやさい類	菌核病 黒すす病	2000～4000 倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内 (灌注は 1 回以内)
		16 倍	1.6L/10a			無人航空機による散布	
		20 倍	2.0L/10a				
		32 倍	3.2L/10a				
	菌核病 <b>黒すす病</b>	100 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱または、ペーパーポット 1 冊 (約 30×60cm、使用土壌約 1.5～4L) 当り 0.5L	育苗期後半～定植当日 <b>定植前日～定植当日</b>	1 回	灌注	

(次頁に続く)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	2000～ 4000 倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3 回 以内	散布	3 回以内
	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	20 倍	1.6L/10a				
		25 倍	2.0L/10a				
		40 倍	3.2L/10a				
花き類・観葉植物（ばら、きく、りんどう、 <b>ゆり</b> 、トルコギキョウを <b>除く</b> ）	うどんこ病	4000 倍	100～300L/10a	発病初期	3 回 以内	散布	
きく	白さび病	2000～ 4000 倍					
	うどんこ病	4000 倍					
	<b>褐斑病</b>	<b>2000 倍</b>					
ゆり	<b>葉枯病</b>	<b>2000 倍</b>					